

講義④「患者会（当事者）の立場から」

先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」

代表理事 渡邊 智美

平成28年度 母子感染の予防と対策についての研修

当事者の視点で考える 母子感染症予防啓発の必要性

先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会
「トーチの会」代表 渡邊智美



■平成28年10月18日(火)13:30～14:00
■平和と労働センター・全労連会館2階ホール（文京区）

《本研修での到達目標》

- 母子感染についての基本的な知識と最新の情報について説明できる。
- 母子感染に関する相談に対し関係機関と連携し、適切な対応をすることができる。
- 母子感染予防のための啓発活動を行える。



トーチの会の活動

- 1 教育・啓発
- 2 ピアサポート

トーチ症候群

母体の症状は軽微であるが、**妊娠中の感染**によって**胎児**に奇形または重篤な**母子感染症**を引き起こす恐れのある疾患の総称

Toxoplasma gondii (トキソプラズマ)
Others (CMVなど) : 巨細胞ウイルス、単純疱疹ウイルス、コクササキウイルス、B19など、胎児に感染するウイルス

T O R C H 症候群

Herpes simplex virus (単純ヘルペスウイルス)
Cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)
Rubella virus (紅斑ウイルス)

- 2012年9月設立
先天性トキソプラズマ症、先天性CMV感染症の子を持つ母親
- 会員 90名以上

顧問医師



長崎小児科
森内浩幸 教授



三井記念病院 産婦人科部長
小島俊行 先生

「知らないのが普通」な現状

妊婦であっても、「母子感染症」に関する情報に接する機会が少ない

そもそも「母子感染症」の存在を知らなければ、情報を探そうともしないのが“普通”
偶然知りえた情報が嘘や誤った内容なことも多い

**母子感染予防の正しい知識が
必要な人に普及されていない現状**

厚労省が考える妊婦の方向けの情報とは？

ひとくらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

妊婦の方向けの情報

- 妊婦健診を受けるタイミングや検査項目などについて
- 母子健康手帳について
- 妊婦と乳児のケアに関する専門家による相談窓口について
- 妊婦と乳児のケアに関する専門家による相談窓口について
- 妊婦と乳児のケアに関する専門家による相談窓口について

妊娠中と産後の食事について

妊産婦のための食生活指針

● 妊産婦の食事の目安
・ 1人1日あたり 1,600kcal、たんぱく質 60g、脂質 60g

お産について知っておきたいこと

● 産後の食事の目安
・ 1人1日あたり 1,600kcal、たんぱく質 60g、脂質 60g

現在配布されているパンフレットの一例

内面は食事の
バランス指導のみ

「妊産婦のための食生活指針」

「からだづくり」「栄養」「体重増加」「母乳育児」「たばことお酒」などに関する指導がほとんどで、**食品が媒介する感染症に関しては注意が不足？**

現在配布されているパンフレットの一例

「食中毒予防」

「妊婦向けシニア菌感染予防」

「生肉」「食中毒」に関する注意はあるが、**トキソプラズマに関する注意呼びかけとしては不十分？**

厚労省が考える妊婦の方向けの情報とは？

妊婦と感染症

「母子感染を知っていますか？」

「HTLV-1」

「母子感染を知っていますか？」

啓発ツール ホームページ、書籍

Q&A形式の
わかりやすい解説

アクセス数 月間 10万PV
2015年4月現在

「Anything But a Dog!」

「The perfect pet for a pet with congenital CMV (cytomegalovirus)」

「体談」

「専門家と共に作成」

<https://greenfunding.jp/thousandsofbooks/projects/1613/>

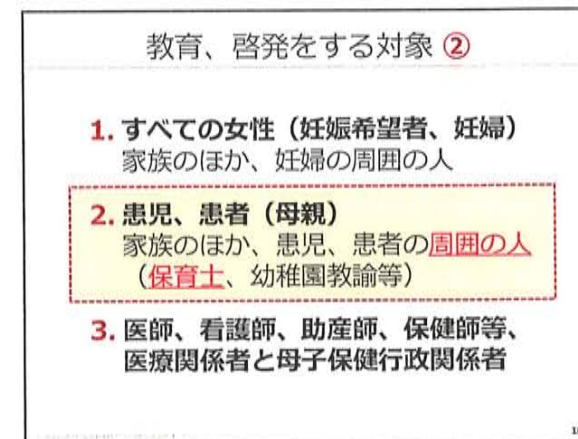
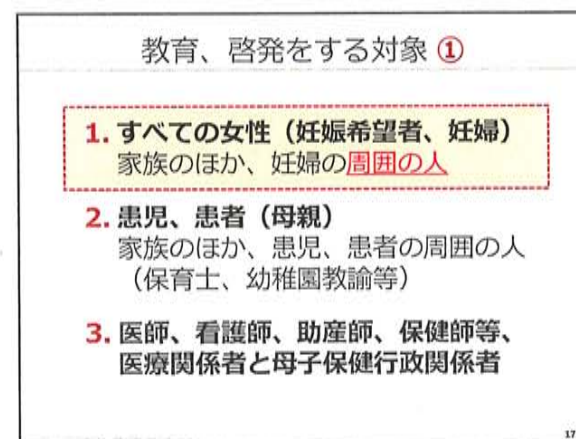
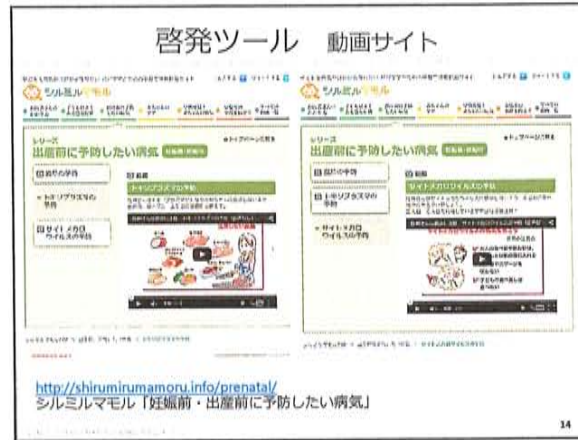
10/19まで承ります。
予約購入はこちらから！

啓発ツール パンフレット、11か条

妊娠中の感染予防のための注意事項・11か条

- 石鹸と流水で、頻りに手を洗ってください。
- 小さな子どもやペットのフンや尿、食べかすを食べてはいけません。
- 肉は、しっかりと中心まで加熱してください。
- 新鮮な野菜や果物を食べる場合は、よく洗ってください。
- 汚れた布巾やタオルは、洗濯機で洗ってください。
- 妊娠中の性行為の際は、コンドームを使用してください。
- 母子感染の原因となる感染症について注意してください。
- 胎動異常や陣痛の増加などがある場合は、すぐに医師に相談してください。
- 妊娠中から産後にかけて、妊娠中に感染したウイルスが、母乳を介して赤ちゃんに感染する可能性があります。
- 感染している人と接触を避けましょう。

「妊産婦のための食生活指針」



当事者の「周囲の無知」による悲劇

うつったらどうなるの？
近寄らないで！

得体の知らないウイルス！
わからない！怖い！

保育園や幼稚園に
来ないでほしい...

(社会・世間)
周知不足・誤解

情報不足、偏見に苦しむ

差別、無用な隔離
孤立、精神的苦痛

19

当事者周囲にも正しい知識を

トーチの会HP 2015年5月追加
保育士、幼稚園教諭（乳幼児と係わる職業）の方へ

森内浩幸先生監修
保育士、幼稚園教諭（乳幼児と係わる職業）の方へ

「思慮」の500冊の子どもの世界を
知って欲しい「サイト・病児保育協会理事（駒崎氏）と対談
は（1）ヤフーニュース掲載
<http://bylines.news.yahoo.co.jp/komazakihiroki/20160204-00054083/>

保育士へ
園医・校医へ

20

教育、啓発をする対象 ③

1. すべての女性（妊娠希望者、妊婦）
家族のほか、妊婦の周囲の人
2. 患児、患者（母親）
家族のほか、患児、患者の周囲の人
（保育士、幼稚園教諭等）
3. 医師、看護師、助産師、保健師等、
医療関係者と母子保健行政関係者

21

体験 妊娠中の経過（1）

- 第2子妊娠時、長男が2歳8か月
- CMVの抗体検査はしていない
- 初期 強い悪阻で一時入院
『肝機能異常』により治療 CMV感染か？
- それ以外は特に変わったこと無し

22

体験 妊娠中の経過（2）

- 27週
『赤ちゃんが育っていない』と言われるも経過観察。
- 総合病院に転院。
子宮内発育不全と診断
羊水検査で染色体異常のみ調べ、
異常無しと診断（25週 推定体重530g）
- 33週
予定帝王切開で出産
身長 37 cm 体重 1090 g
胸囲 23.3 cm 頭囲 25.2 cm

23

体験 出生後 1ヶ月検診

- 産科医
『胎盤の一部に石灰化が見られた』
『胎盤も確かに小さかったが、赤ちゃんが元気であるなら特に問題なし』
- 小児科医
『CMV感染症を疑っている』
『検査を行う意味はあまりない』
『確定診断を行っても児の症状は変わらない』

検査を強く希望

脳内石灰化物の存在、尿PCR検査でCMV検出

先天性CMV感染症と推定

24

体験 101日で退院

- 体重 3508g
- 退院時の説明

『将来障害が起こるかどうか全くわからない』
 『脳波上点頭てんかんの波があるので、
 発作の状態を良く観察するように』
 『神経学的な症状は小頭症のみなので、
 普通の育児をすれば良い』
 『お母さんも娘さんもCMVを出し続けている。
 1歳までは感染を広めない為に、妊婦さんの
 いる場所へは近づかないで』



25

体験 自宅に戻ってから困難続く

- 5カ月

てんかん発作、抗てんかん薬開始
 首はすわったものの、ミルクがうまく飲めない
 (母乳は他人の凍結母乳以外は与えていない)
 だっこしにくい…体が硬い…上の子とは違う印象…
- 1歳

定期訪問の保健師に訓練施設を紹介され、
 初めて「**脳性麻痺**」があることがわかる
- 訓練入所施設に入所

出生時は反応があったはずの、左の耳が聞こえていない
 ことが発覚

進行性の難聴

26

体験 1歳～現在まで

- 1歳～3歳

訓練施設入所 リハビリ中心の毎日
- 3歳

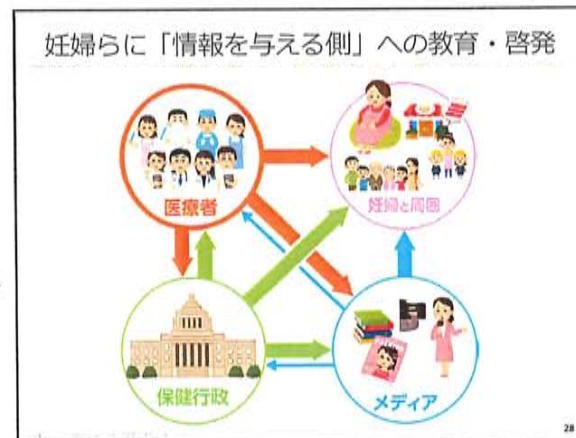
寝返り、ずりばい移動が可能に
 家庭に戻り、保育園入園
- 4歳 股関節亜脱臼の為、筋乖離手術
- 6歳 養護学校へ入学
- 現在 14歳

大脳・小脳・脳幹に
 皮質形成異常、脳室拡大 がみられる

今後もフォロー必要



27



認識の低さと見逃し

- 出生時に症状が目立たなくても、**成長するにつれ症状が進行**することがある
- 出生時に症状が顕れていても、それが**非特異的**
- 大人が感染しても症状が出ないか、出ても**軽い非特異的**

「非常に稀な」「珍しい」病気と、誤って認識

症状が出て原因を追及しようとなしない

妊婦も児も見逃されることが多い

29

医療関係者に望むこと

診断漏れを無くし特異的な治療へと結び付ける

不妊外来等
助産師外来
産科
小児科
耳鼻科
眼科

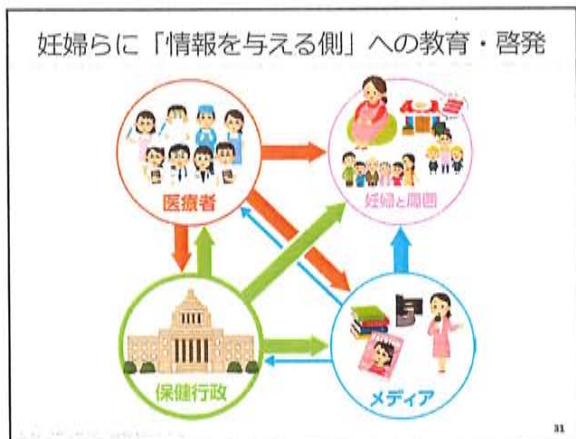
教育・啓発

抗体検査 胎児感染の診察
早期発見・早期治療

新生児スクリーニング実施
早期発見・早期治療

遅発性・進行性の症状診察
早期発見・早期治療

30



妊婦さんおよび妊婦を希望されている方へ

赤ちゃんとお母さんの感染予防対策5か条

日本産婦人科学会など関係学会5学会共同作成

「赤ちゃんとお母さんの感染予防対策5か条」

行政向け勉強会、研修とその後の取り組み

行政向け勉強会、研修とその後の取り組み

東京都福祉保健局

東京都福祉保健局

国や自治体ができる、啓発の方法

国や自治体ができる、啓発の方法

母子手帳
自治体HP
副読本・配布資料
教育・相談
母親学級
子ども家庭支援センター
保育園・児童館等

教育・啓発をしよう！

もっとも簡単で安価、且つ効果がある
「今すぐに始められる」母子感染予防対策は
啓発・教育

パンフレットを配布協力してくださる
医療施設を募集中です！詳細はHPまで。

トーチの会の活動

① 教育・啓発
② ピアサポート

相談業務
(メール月平均15件)

患者交流、情報交換
(SNSやオフ会等)

同じ様な課題に直面する人同士で、**支えあう**

妊婦から寄せられる相談の例

- 抗体検査が陽性だった、もうだめだ...
- 妊娠中の初感染の可能性が高いと言われた
- これから感染しないか心配で眠れない...
- ○○○をしてしまった。大丈夫でしょうか？
- 担当医に相談しても、取り合ってくれないので専門家に相談したい

37

相談者に寄り添うためには

他人ごとにならない対応・アドバイスを

当事者の経験を知る

身近な当事者の存在を知ると、話す方も聞く方も他人ごとになりにくい

オクセイさんの体験談

<http://toxo-cmv.org/story.html>
トーチの会 体験談

私も母も、胎児は口内を消毒するだけで、お産も大丈夫なはずなのに、産後1ヶ月も経たず、赤ちゃんが亡くなりました。その原因はCMVだったと診断されました。



PHOTO: NIKO ITOH



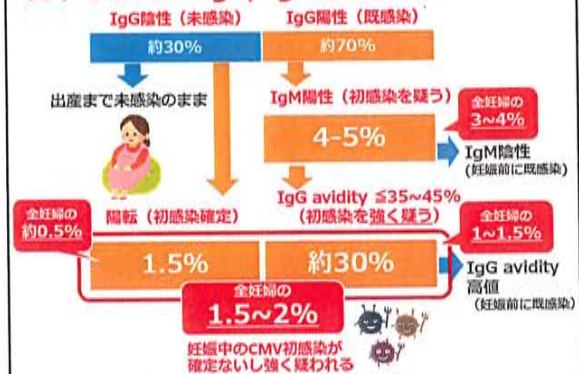
38

相談例 1 「抗体検査結果が陽性、医師の関心が薄い」

この度二人目を妊娠しました。上の子は1歳5ヶ月です。この度10w5dに初期の血液検査を受け、サイトメガロウイルスについても任意検査でしたが受けることにしました。主治医からは「抗体があるから大丈夫です。感染しません。」と言われたのですが、陽性ということですよね？あまり積極的に説明をしてくれない主治医なので、こちらから申し出をしないと再検査をしてもらえそうにありません。現時点のIgG値だけでは、それがいつの感染であるか特定はできませんよね？IgM値の検査をお願いした方がいいのでしょうか。次の健診時に再検査を頼むべきか悩んでいます。

39

日本でのCMV-IgG, IgM陽性頻度 (検査の流れ)



CMVの母子感染と出生児障害リスク



回答例 1 - 1

Aさまが悩まれるのは当然なことです。ご指摘の通り、一度目の検査が陽性（CMV-IgG陽性）であっても、感染の時期などはわからないので「今後、初感染することはない」というメッセージにしかならず妊娠中の初感染を否定するものにはなりません。なので、「大丈夫」と言い切るのは難しいことです。しかし、日本人の妊婦の7割はIgG陽性であると言われており、IgMの検査をしても疑陽性もあり得ますし、結局は全妊婦の1.5%ほどしか妊娠中の初感染はないと言われてます。また、妊娠中の初感染を見つけたとしても、確立された胎児治療はありませんから出産までは注意深く赤ちゃんの様子を観察することしかできません。担当医様の対応は残念なものではありますが、こういった理由で再検査を勧めなかった可能性もあります。

42

回答例 1 - 2

とはいえ、Aさまが妊娠中に、感染するようなリスクのある行動をとられていた場合は、やはり初感染の可能性も考えて精密検査を受けるのもよいと思います。何か思い当たることはありますか？

もし特にリスクがあるような生活をしていなかった場合は、再検査をしなくても、今後の検診の工程で胎児に何も起きていないか確認していくだけでも十分な気がします。

というのは、仮に初感染していたとしてもその6割は胎児に感染しないからです。でもやっぱり、どうしても不安がぬくえないのであれば、精密検査に進むか担当医に相談した方がよいと思います。

サイトメガロウイルス妊娠管理マニュアル

2014年11月1日

厚生労働科学政策
成育医療研究等代表代成育医療研究事業（成育医療研究等研究事業）

自卒産科の産科医及び助産・産科に関する研究班
（平成25年度～27年度）

43

回答例 1 - 3

もし、話を聞いてくれないかという不安があれば、可能であれば担当医に厚労省母子感染研究班が作成したサイトメガロウイルス妊娠管理マニュアルを示し、次の検査をやってもらえないか聞いてみてはいかがでしょうか？

それでもやはり思わしくない対応を受けた場合は、マニュアルに掲載されております相談窓口である二次施設に検査について問い合わせを試みることをお勧めいたします。

※ 胎児に CMV 感染疑いの出生時の検査、診断と治療を行う、または治療から検査を受けることが

可能な二次施設および連絡先

施設名	電話	施設名	電話
東京大学医学部附属病院内小児科	03-3832-3111 (内線)	大阪大学医学部附属病院内小児科	06-6642-3111 (内線)
京大医学部附属病院内小児科	03-3832-3111 (内線)	京都府立医科大学医学部附属病院内小児科	075-821-3111 (内線)
京都府立医科大学医学部附属病院内小児科	075-821-3111 (内線)	奈良県立医科大学医学部附属病院内小児科	0742-22-3111 (内線)
奈良県立医科大学医学部附属病院内小児科	0742-22-3111 (内線)	和歌山県立医科大学医学部附属病院内小児科	073-442-3111 (内線)
和歌山県立医科大学医学部附属病院内小児科	073-442-3111 (内線)	徳島県立大学医学部附属病院内小児科	087-222-3111 (内線)
徳島県立大学医学部附属病院内小児科	087-222-3111 (内線)	高松市立中央市民病院	087-821-3111 (内線)
高松市立中央市民病院	087-821-3111 (内線)	松山県立大学医学部附属病院内小児科	089-922-3111 (内線)
松山県立大学医学部附属病院内小児科	089-922-3111 (内線)	愛媛県立大学医学部附属病院内小児科	089-922-3111 (内線)
愛媛県立大学医学部附属病院内小児科	089-922-3111 (内線)	高知県立大学医学部附属病院内小児科	088-822-3111 (内線)
高知県立大学医学部附属病院内小児科	088-822-3111 (内線)	福岡県立大学医学部附属病院内小児科	092-822-3111 (内線)
福岡県立大学医学部附属病院内小児科	092-822-3111 (内線)	佐賀県立大学医学部附属病院内小児科	095-822-3111 (内線)
佐賀県立大学医学部附属病院内小児科	095-822-3111 (内線)	長崎県立大学医学部附属病院内小児科	095-822-3111 (内線)
長崎県立大学医学部附属病院内小児科	095-822-3111 (内線)	熊本県立大学医学部附属病院内小児科	096-822-3111 (内線)
熊本県立大学医学部附属病院内小児科	096-822-3111 (内線)	大分県立大学医学部附属病院内小児科	097-822-3111 (内線)
大分県立大学医学部附属病院内小児科	097-822-3111 (内線)	宮崎県立大学医学部附属病院内小児科	098-822-3111 (内線)
宮崎県立大学医学部附属病院内小児科	098-822-3111 (内線)	鹿児島県立大学医学部附属病院内小児科	099-822-3111 (内線)
鹿児島県立大学医学部附属病院内小児科	099-822-3111 (内線)	沖縄県立大学医学部附属病院内小児科	098-822-3111 (内線)

http://cmvtoxou.umin.jp/doc/manual_01.pdf
サイトメガロウイルス妊娠管理マニュアル

44

相談例 2 「育児中の妊婦、〇〇をしてしまった、風邪の症状がある」

妻が妊娠13週です。

サイトメガロウイルスに関して、妻はIgM (-)、IgG (-) のため、長男 (3歳) の唾液や尿を扱う際には、注意を払っておりました。

先日、知り合いの誕生日パーティーに参加したところ、デコレーションケーキのろうそく消して、**乳幼児が息を吹きかける際に、結構な唾液も飛ばしましたが、妻も、そのケーキを食べないわけにはいかない状況でした。**

(可能な限り、表面は食べないようにしたのですが...)

乳幼児の唾液が飛んだデコレーションケーキを食べたことで、妻がサイトメガロウイルスに感染してしまった可能性は高いのでしょうか？

その次の日少し頭痛があり、二日後には喉の痛みがありましたが、大丈夫でしょうか？

わが子を含め、**乳幼児と接触することが多い環境のため不安です。**

45

回答例 2 - 1

今回の件でCMVの感染が成立したかどうかを調べるためには、やはり検査を行っていただく以外に方法はあります。

出来事から2週間から1ヶ月ほど経過した頃に、再度検査を行って頂くように担当医に相談されてみてはと思います。

また、感染時に風邪のような症状が母体にあらわれることはありますが、それは鼻水や咳、頭痛などの症状を言っているのではありません。

熱発、倦怠感といった、全体的に体調不良な雰囲気になることを「風邪のような症状」と表現しています。

今回の頭痛やのどの痛みに関しては、絶対に関係ないとは言えませんが、生じた日数的にもまず関係ない症状だと思えます。

しかし、仮に感染が生じていたとしても、胎児に必ず感染するわけではありませんし、感染しても必ず障害が起こるわけではなく8割は症状がありません。

46

回答例 2 - 2

そもそも、ヒトは様々な物理的なバリアを持っていますし、非特異的な免疫（自然免疫といいますが、常に異物を排除しています）が、常に異物を排除しています。

こうした免疫機構で排除できないような大量のウイルスが体内に入り込まないように、オムツをかえた後手洗いを、子供の食べ残しは食べないなどの方が、ほとんど問題とならないような微量のウイルスを気にして過ごすことよりもよほど大事なことになります。

また、CMVの感染経路は接触感染ですが、これはウイルスに触れただけという意味ではなく、CMVが含まれている唾液等を手で触れるなどして、それを口や粘膜から体に取り入れ、感染するという事です。

乾燥した状態ではCMVは感染力を保つ事ができません。

予防のポイントを押さえてさえいれば、上のお子さんと触れ合うことに何も制限はありません。

キスも唾液のついていない場所（おでこなど）なら問題ありません。たくさん抱きしめて、たくさん遊んであげてください。

47

回答例 2 - 3

ところで、お母さんが精神的に揺らいでいる時は、免疫力や抵抗力も影響されがちです。

赤ちゃんのためにも、しっかりと睡眠を取り、しっかりと食事を取り、健康を保ち、十分な免疫物質を赤ちゃんに供給してあげてください。

母体が心身ともに元気であることが一番の胎児への応援になります。

お母さんが胎児に援護射撃してあげられるように、体調管理をがんばってください。

48

相談例 3 「妊娠中の初感染の可能性が高いと言われた」

- 十分な検査がされた上のことなのか確認
- トキソプラズマの場合：妊娠中でも積極的な胎内治療を行う可能性もあるので、専門の産科医への相談を勧める。また、生まれて来たお子さんの診察や検査はしっかり行うために、産科小児科がきちんと連携が取れる施設での出産を勧める。
- CMVの場合：現在確立された胎児治療はありませんが、生まれて来たお子さんの検査は必須なので、産科小児科がきちんと連携が取れる施設での出産を勧める。
- 胎児への感染や症状が出る確率が低いことを説明
- 予防法を知らなかったこと、実行しなかったことを指摘しない
- 感染児を出産した当事者たちの話を聞かせる

49

さいごに

おかげさまで**今冬 出版予定**です。
現在**事前予約**を受け付けておりますので、
ご希望の方は以下のリンクへ
(予約用の特別価格です。トーチの会HPからも以下リンクにどべます。)



産科医の先生でもまだ説明していませんが、CMVは決して珍しい病気ではありません。私たちが感染しても、または我が子が、そうである可能性があったということ。この「普通」の感覚が、決して「普通」ではない（通常の感覚）を通して知って欲しいのです。そして、その感染と正しい結果は、加齢で治癒したとしても、一生にわたって生きていく必要があります。

何年後、CMV感染を患えて生まれ、16歳で死別した少女と母とを巡るように生きていく。彼女の母と、生きること、命とは、なぜ、こんなにも難しいのでしょうか。"Anything But a Dog" Lisa Saunders (著) は、実話にもとづいた、二つの命のかけがえのない日々を綴った物語です。

<https://greenfunding.jp/thousandsofbooks/projects/1613/comments>

ご清聴ありがとうございました

50

妊娠中の感染予防のための注意事項 - 11か条

1. 石鹸と流水で、しっかり手を洗ってください。

特に以下の場合は念入りに洗ってください。石鹸と流水が使えない時は消毒用ハンドジェルの使用をお勧めします。

- おむつを替えた後
- トイレを使用した後
- 生肉、生卵、または洗っていない野菜や果実に触れた後
- ベットと触れ合った後
- 小さな子どもと遊んだり世話をした後
- 手に唾液(特に乳幼児の唾液)がついたとき
- 病気の人の近くにいた後
- 調理や食事の用意をする前後
- ガーデニングや農作業をするなど、土に触れた後

2. 小さな子どもとフォークやコップなどの食器を共有したり、食べ残しを食べることはやめましょう。

小さな子どもの唾液や尿にはサイトメガロウイルスが含まれている可能性があります。健康な人には無害なウイルスですが、妊婦と胎児には影響を及ぼすことがあります。小さな子どもと関わるときはしっかり手を洗いましょう。

3. 肉は、しっかりと中心部まで加熱してください。

買ってきた調理済みの肉料理も、本当に十分な加熱調理をされているのか定かではありませんから、自分で中心部の赤みがなくなるまでしっかり加熱したもの以外は食べないでください。加熱が不十分な肉や肉の加工品には有害な細菌や寄生虫(トキソプラズマやリステリア菌)が含まれている可能性があります。もし混入している場合も、十分な加熱調理で殺してしまうことができます。その他、生ハム、ローストビーフ、レアステーキ、肉のパテ、生サラミ、生ベーコン、ユッケ、馬刺し、鳥刺し、鹿刺し、エゾシカのレアステーキ、鯨刺し、ヤギ刺し、加熱が不十分なジビエ(野生の鳥獣)料理、等も妊娠中は食べないようにしましょう。サラダや肉や魚のパテからリステリア菌に感染した事例もあります。基本的に、妊娠中には十分に火が通ったものを食べるように心掛けましょう。

4. 殺菌されていないミルクや、それらから作られた乳製品は避けましょう。

殺菌済という確証がない限りはフェタチーズ、ブリーチーズなどの「ソフトチーズ」は食べないでください。海外で供されるチーズではこういった種類のものが珍しくありません。殺菌していないこれらの製品には有害な細菌や寄生虫が含まれている可能性があります。

5. 汚れたネコのトイレに触れたり、掃除をするのはやめましょう。

できるだけトイレの掃除は他の人に代わってもらいましょう。どうしても自分でやる必要がある場合は、手袋やゴーグルを着用し、作業後には必ず手を洗ってください。また、ネコのトイレは毎日掃除して清潔を保つようにしてください。ネコの糞にはトキソプラズマなど有害な寄生虫が含まれている可能性があります。

6. げっ歯類(ネズミの仲間たち)やそれらの排泄物(尿、糞)に触れないようにしましょう。

有害なウイルスを運ぶげっ歯類もいます。まれにそれらがベットのモルモットやハムスターなどにも感染していることがあります。出産まではそれらベットの世話は他の人に頼みましょう。

7. 妊娠中の性行為の際には、コンドームを使いましょう。

性行為を通じて、サイトメガロウイルスや単純ヘルペスウイルスなどのウイルスやクラミジアなどに感染することがあり、これらは胎児・新生児に悪影響を及ぼす恐れがあります。また、特別な病原体でなくとも、膣内の細菌感染の刺激が早産の原因となることもあります。これを防ぐためにもコンドームの使用が望まれます。また、唾液を介して感染する病原体もいますのでオーラルセックスも危険です。

8. 母子感染症の原因となる感染症について検査しましょう。

胎児・新生児に影響を及ぼす感染症であっても、妊婦には自覚症状が乏しい場合も少なくありません。日本では梅毒検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、HIV抗体検査、HTLV-1抗体検査は妊婦健診の際に、ほとんどの産科施設で実施されています。しかし、トキソプラズマ抗体検査やサイトメガロウイルス抗体検査などは、任意であり、また検査を奨める施設も多くはありません。自分が現在、何か感染症にかかっている可能性はないか、どういった病気にたいして免疫を持っているかを把握して、予防に役立てるためにも、検査は必要です。トキソプラズマやサイトメガロウイルスの抗体検査も自分から医師に検査を頼むようにしましょう。

9. B群溶血性レンサ球菌の保菌者であるか検査してもらいましょう。

妊婦の10~30%が感染していると言われていますが妊婦自身には自覚症状がありません。しかし、赤ちゃんの髄膜炎や死亡につながる感染症です。妊娠後期で簡単な綿棒テストをすることでわかります。保菌していることが判明すれば、分娩中に赤ちゃんを保護する方法があります。

10. 感染症から自分と胎児の身を守るために、妊娠前にワクチンを打ちましょう。

ワクチンが存在する感染症(たとえば、麻疹、風疹や水痘)は、ワクチンを打つことで防げます。自分が病気になるため、健康を保つため、将来の自分の胎児を守るため、また周囲にいる妊婦とその胎児に感染させないためにも、ワクチンを打ちましょう。現在妊娠している方は、出産後、なるべく早く次の妊娠までの間にワクチンを打ちましょう。

11. 感染している人との接触を避けましょう。

自分が未感染であるか、ワクチンを打っていないかった場合、水痘や風疹などに感染している人には近づかないようにしましょう。もし接触した人がこれらの病気に罹っていることがわかったら、すぐに病院に連絡して下さい。水痘や麻疹の場合は、すぐに免疫グロブリンの注射をすることで発症を防ぐことができるかも知れません。

妊娠中の感染予防のための注意事項・11か条

1. 石鹸と流水で、しっかり手を洗ってください。
2. 小さな子供とのフォークやコップの共有、食べ残しを食べることはやめましょう。
3. 肉は、しっかりと中心部まで加熱してください。
4. 殺菌されていないミルクや、それらから作られた乳製品は避けましょう。
5. 汚れたネコのトイレに触れたり、掃除をするのはやめましょう。
6. げっ歯類(ネズミの仲間たち)やそれらの排泄物(尿、糞)に触れないようにしましょう。
7. 妊娠中の性行為の際には、コンドームを使いましょう。
8. 母子感染症の原因となる感染症について検査しましょう。
9. B群溶血性レンサ球菌の保菌者であるか検査してもらいましょう。
10. ワクチンが存在する感染症(たとえば、麻疹、風疹や水痘)から自分と胎児の身をを守るために、妊娠前にワクチンを打ちましょう。※1
11. 自分が十分な抗体を持っていない場合、水痘や風疹などに感染している人には近づかないようにしましょう。※2

※1 現在妊娠している方は、出産後、なるべく早く次の妊娠までの間にワクチンを打ちましょう。

※2 感染者に接触した場合はすぐに病院に連絡して下さい。水痘や麻疹の場合は、すぐに免疫グロブリンの注射をすることで発症を防ぐことができるかもしれません。

まだ、自分には関係ないと思っていないませんか？ トキソプラズマとCMV 感染児を持つ、ご家族の声を聞いてください。



悔やまれるのは「知らなかった事」

■ 2003年2月生まれ先天性CMV感染症、ひびきさんの体験談より
[CMVの感染によって、母体には全く無症状でありながらも、大切な子供に取返しのつかないダメージを与えてしまう事があるということを「知らなかった!」という事です。
私自身はもちろん、病院側にも知識が無さ過ぎたのではないかと思っています。NHKの報道を見て初めて、上の子の食べ残しの整理などのお世話でCMVに感染することが多かったです。これには心当たりが大有りでした。知っていれば予防できたかもしれません。



妊娠中期に「一度だけ」ユッケやレバ刺しを食べたことがあります。
■ 2011年生まれ先天性トキソプラズマ感染症、豆太助さんの体験談より
...どうして、こんなタイミングで初感染？生肉なんて小さいころからタタキとか食べていたのに、わざわざ妊娠中に初感染？ただの悪い偶然？いやいや、私が知識がなく生肉なんか食べたせいだ!...お腹の中の赤ちゃんの障害の原因がトキソプラズマの母子感染だと分かった時、私は自らの手で、大事な宝物である娘を、トキソプラズマに感染させ、悔いを与えてしまったのだと、非常に悔いて、そんな自分を呪いました。 ※生肉のレバ刺しは平成24年7月から禁止されています

先天性トキソプラズマとサイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」

詳しい相談やQ&A、体験談は
ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://toxox-cmv.org/>
Facebook <http://www.facebook.com/toxocmv/>
Twitter @toxocmv Email info@toxox-cmv.org

検索

トーチの会



監修：長崎大学大学院教授／長崎大学病院小児科長 森内浩幸先生、三井記念病院産婦人科部長 小島俊行先生

妊娠中の 母子感染に注意!!

妊娠中にウイルスや細菌、寄生虫などに母体が感染すると、

胎盤や血液を通じて母親から胎児に感染してしまい、

赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる可能性があります。

これを胎内感染(または先天性感染)といいます。

特にトキソプラズマとサイトメガロウイルス(CMV)の先天性感染症に対して、今の日本には認可の下りた治療薬、感染を防ぐためのワクチンが存在しません。

ですから、妊娠中は感染しないように予防することがとても大切です。

先天性トキソプラズマとサイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」とはなんですか？

2012年9月、妊娠中にトキソプラズマやサイトメガロウイルスに感染し、先天性の障がいが出た家族を中心に設立された患者会です。日本でこの二つの胎内感染症は、「珍しい病気」と思われてきましたが、最近では生活環境の変化のためか、患者の数が増えてきています。しかし現在、母子手帳の中にこれらの病気が説明されていませんし、妊婦健診でもその検査を行う施設は少なく、国は注意喚起をほとんど行っていない状況です。

注意すれば防ぐことができるかもしれない母子感染で悲しむ親子をなくしていくために、国や医療機関へ、妊婦さんへの注意や情報提供をするよう、働きかけを行っています。

先天性トキソプラズマとサイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」

Association for Congenital Toxoplasma and Cytomegalovirus Infections

先天性トキソプラズマ症



トキソプラズマは家畜の肉や感染したばかりのネコノ糞や土の中などにいる、こ
 くありきたりの原虫です。原虫と言っても、とても小さな単細胞動物なので目には
 見えません。日本では大人になってから感染率が高くなる傾向にあります。感染し
 ても健康な人には全く問題ないのですが、妊婦が初めて感染した場合は、その胎児
 にも感染が及ぶことがあるので注意が必要です。感染した胎児には、流産・死産・脳
 や眼の障害などが生じることがありますが、症状も陽がいの重さも様々です。そして、感染しても何も
 症状がないこともあるし、出生時に問題がなくても成長するにつれて症状が出る場合もあります。特に
 重要なものは網脈絡膜炎による視力障害です。



先天性サイトメガロウイルス感染症

サイトメガロウイルス(CMV)は世界中のいたるところにいる、ありふれたウイルスです。母乳を飲んで、子どもの唾液や尿に触れて、そして性行為によって感染し、日本では成人の半数以上がすでに感染し免疫を持っています。子どもも大人も健康であれば感染しても全く問題はないのですが、妊婦が初めて感染した場合や妊婦の免疫力がひどく低下した場合は、胎児への感染が危ぶまれます。感染した胎児には、流産・死産、脳や聴力障害などが生じることがありますが、症状も障がいの重さも様々です。そして、感染しても何も症状がないこともあるし、出生時に問題がなくても成長するにつれて症状が出る場合もあります。特に重要なものは進行性の難聴です。何らかの症状がみられるのは感染児の10-30%程です。



「トキシゾプラズマ」から胎児を守るために、特に気を付けること

肉に含まれたトキソプラズマは67度になるまで加熱しないと死にません。

- 生肉や加熱不十分な肉を含む。肉は中心部の赤みがなくなるまでしっかりと火を通す。
生ハム、ローストビーフ、レアステーキ、肉のステーキ、生サシミ、生ペコ、ユッケ、黒刺身、黒刺し、等
エシカカのレアステーキ、黒刺し、ヤキ刺し、加熱が不十分なジビエ(野生の鳥獣)料理、等
- 殺菌されていないミズルを飲む。また殺菌されていないミズルで作られた乳製品
(ナチュレール、ミズソフトなど)も避ける。※1
- 刃工やまな板などの調理器具は生肉用と野菜用に分けて使い、こまめに洗拭し、清潔に保つ。

感染したてのネコが公園や庭、畑で糞をしている可能性があります。またそれらの土で川や井戸水が汚染されている可能性があります。

- 土をいじる作業中は手袋や眼鏡、マスクを装着し、作業後は十分な手洗いをする。
- すべての野菜や果物は皮をしっかりと洗浄する。
- ろ過あるいは蒸留処理された水道水以外（塩素処理だけではダメ）の生水を何も処理しないまま飲むことは、妊婦は絶対に避ける。

●ネコ用トイレの掃除はできれば他の人にお願する。

- ネコトイレは「毎日」掃除をする。
- ネコの餌として生肉をあげない。
- 飼いネコは外にださない。
- 妊娠中に新たにネコを飼い始めない。
- ネコトイレの掃除やネコのお世話の際、使い捨て手袋やメガネ、マスクを装着し、作業後は手洗いを厳行する。

奸婦にとってネコは危険なのですか？

トキソプラズマに「初感染して数週間以内のネコの餌」には
トキソプラズマが含まれている可能性が高いです。しかし
糞の中のネコプラズマがヒトへの感染力を持つまでは
通常1日以上かかります。特に「外飼」や「野食」のネコには
最悪感染した可能性が考えられるので危険です。ネコも生
卵や生肉に食まれたネコプラズマから感染します。

妊娠中の初感染が判明した場合、対応策はありますか？

母体が感染しても胎児にまで感染しないこともありま
すし、胎児が感染しても何も症状が出ない場合もありま
す。したがって、胎児に感染したとしても母体では
気づかずに感染を起す危険性を放置することは得策では
ありません。感染の可能性が高いと判断された場合は、
胎児に起こる障がいや予防経済する為には妊婦への投票
を考慮することが必要です。

「サイトメガロウイルス」から胎児を守るために、特に気を付けること

- 石鹸と流水でしっかり手を洗う。
- おむつ交換、子どもの食事、鼻水やよだれの処理、オモチャを触った後は念入りに手洗いする。
- 食べ物、飲み物は子どもとは別にし、同じ箸やスプーンやフォークも使わないようにする。
- 子どもにキスをするときには頬や唇へのキスは避けて、おでこにしてあげる。
- 子どもの唾液やおしっこがついてしまったオモチャや家具などは、ざれいに拭き取る。
- CMVは石鹸、アルコール、漂白剤などに弱いので、手洗いや掃除の際は、水だけではなく、こうしたものが入った消毒薬や清掃用品を使う。
- CMVは乾燥に弱いので、敷物や布団類は天日で十分に乾燥させる。
- 保育教諭など乳幼児と関わる職種の方は妊娠したらできる限り年齢の高い子どもを担当する。
- 妊娠中の性行為の際には、コンドームを使う。

妊婦は先天性CMV感染症の子どもやその母親には近づかない方がいいのですか？

CMVは世界中どこにでもいる普通のウイルスです。感染しても症状が出ないため気付かないだけで、日本でも感染している人の方が多いくらいです。つまり先天性感染をしている子もその親も、他の人と何ら変わりはないのです。しかもインフルエンザのように飛沫感染(くしゃみや咳による「はきぎ」によって起こる感染)するのではなく、唾液や尿に触れた手を介して感染します。手洗いをきちんとして行うことで予防すれば良いわけで、感染者を差別したり「隔離」したりしても無意味で何の効果もありません。

妊娠が感染すると全ての胎息に随いが出るのでか？

母親が妊娠時に初感染した場合、CMVに対する免疫を持っていない為、胎児にまで感染が及ぶ可能性があります。過去に感染していて既に免疫ができている場合は胎児に感染が及ぶことはほとんどありません。感染して生まれてきた多くの胎児には感染は目立たないので安易に中絶を素でないでください。

自分には抗体があるのか？もしくは妊娠中に感染していないか調べるにはどうすればいいの？

トキソプラズマもCMVも、採血して抗体検査を行います。これらの抗体検査は妊婦健診には含まれていないため、自ら積極的に検査を依頼する必要があります。不安に思うことが少しでもあれば、必ず医師に相談して、大切な赤ちゃんの赤ちゃんを守ってください。

※1 ミルクに含まれたトキソプラズマによる経口感染の報告はありませんが、リステリアなどの細菌感染、食中毒予防のためにも細菌されていないものは避けましょう

このリーフレットの情報は、2016年2月時点での情報に基づいて作成されています。(第7版)